

自然再生を成功させる秘訣

- 人的資源の分析と連結 -



徳島大学 大学院 工学研究科
小串重治・鎌田磨人



『自然再生成功の秘訣・・・
暗中模索の日々』

自然再生促進法 第3条

自然再生は、健全で恵み豊かな自然が将来にわたって維持されるとともに、生物の多様性の確保を通じて自然と共生する社会の実現を図り、あわせて、地球環境の保全に寄与することを旨として適切に行わなければならない。

自然再生事業の対象

1. 生物種と生育、生息場所
2. 群集構造と種間関係
3. 生態系の機能
4. 生態系の繋がりに
5. 人と自然との持続的なかかわり

『自然再生事業指針』
(日本生態学会生態系管理専門委員会, 2005)



プロジェクトリーダーのための
自然再生の秘訣



研究対象地: 徳島県三好市 落合峠



標高約1600mの稜線部。
『徳島県観光案内マップ』
でスキ草地の名所
として紹介されていた。

プロジェクトリーダーのための自然再生の秘訣

『多様な参加主体を持続的に連結させる』

1. 行政支援依存型のプロジェクト運営は、スタート時は有効。行政の本来の役割はプロジェクトの自立を促すこと。
2. 環境資産の生態学的な価値を認識できるのは少数派。参加主体を少数派に限定してはならない。
3. 多様な参加主体の関心事、共通目標を見出すことこそが、プロジェクトのはじめの一歩。持続的なコミュニケーションが基本。
4. 共通目標の段階的な達成・体験型のプログラムの中に、自然再生に係わる人づくりのカリキュラムを内包すべし。

落合峠の変化

1960年



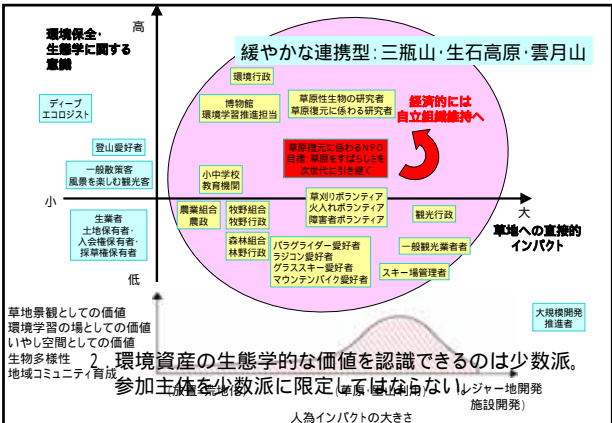
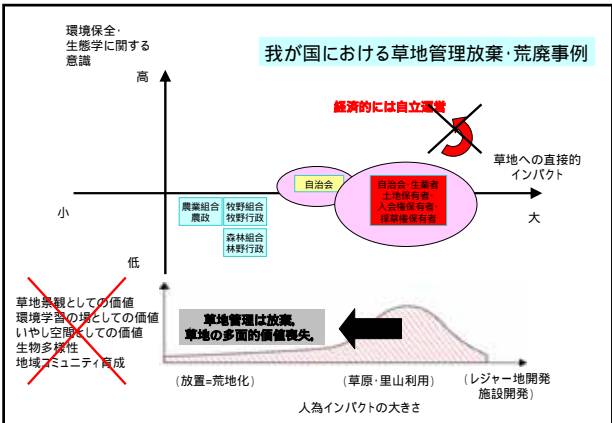
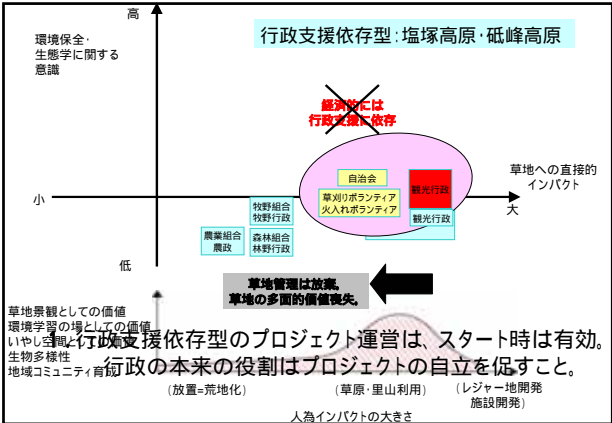
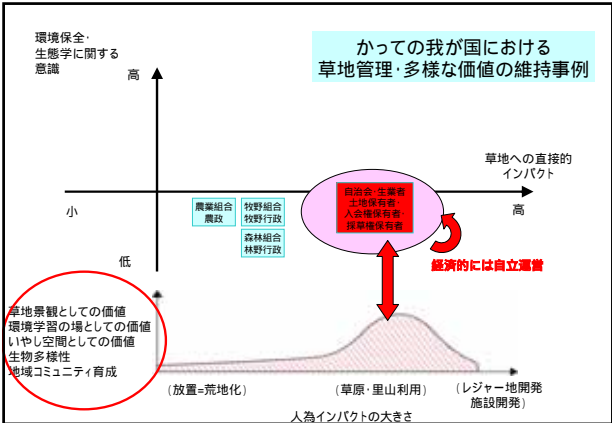
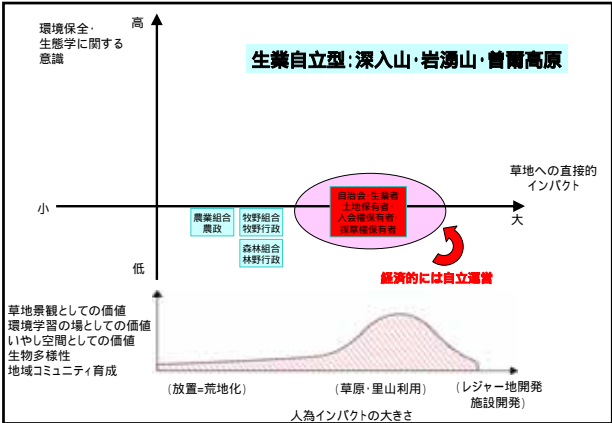
マツムシクソ ネハリギラン

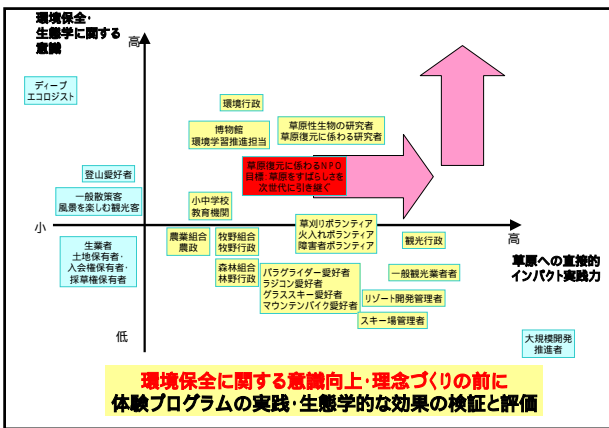
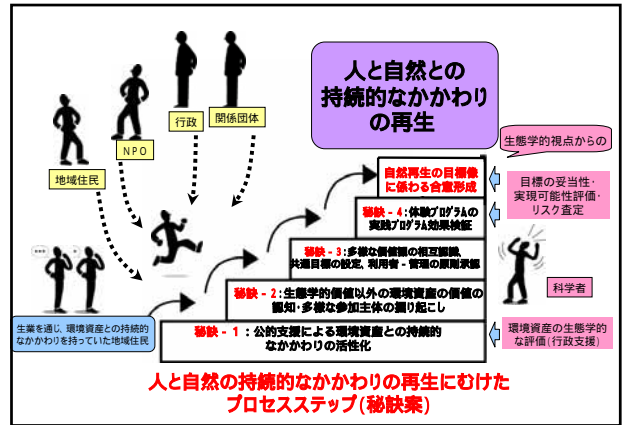
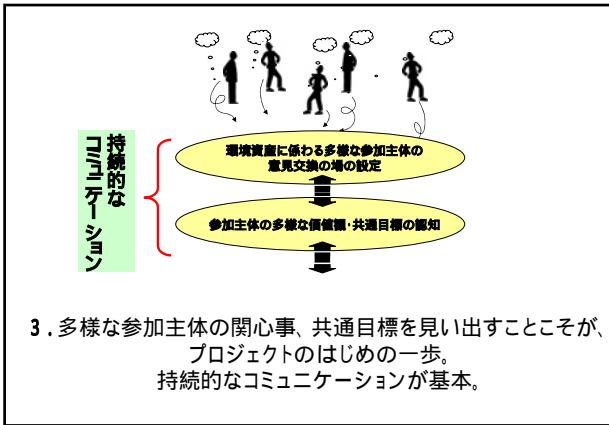
2004年



イグキトラノオ ヲカネオトギリ

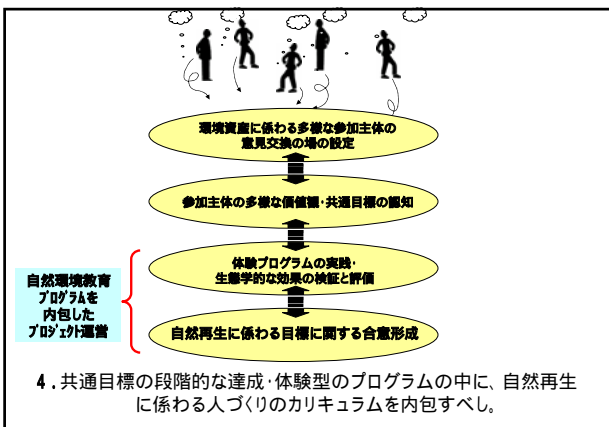
『ヒアリング箇所の分析結果紹介の前に、我が国の草地管理に係わる人的資源の分析事例を紹介します。』





反省:研究者として独りよがり……
キーパーソンとの持続的なコミュニケーション……不足。

	深山山	岩湧山	曹巖高原	瑞峰高原	雲月山	生石高原	三毛山	適合群
資金								x
各種企業・自然再生支援事業との連携								x
各種行政事業との連携・委託								x
自治会								x
生業者・土地所有者・入会権や採草権保有者								x
観光行政								x
環境行政・生物多様性保護担当者								x
博物館・教育機関								x
農業・畜産業・林業行政及び関係者団体								x
パラグライダー・ラジコン等 愛好者								x
開発業者・スキー場管理者								x
一般観光客								x
登山愛好者								x
大規模開発事業者								x
草刈り・火入れボランティア								x
草原再生に係わるNPO								x
ディープエコロジスト								x
草原の動植物に係わる科学者・工務科								x
環境資産の再生意義に即する情報提供								x
生態学視点からみた目標の妥当性の判断								x
生態学的視点からみた目標達成可能性の判断								x



中都市を含む流域圏
の景観管理にむけて

「多様な参加主体を持続的に連結する」



- ・環境資産に価値を見出す
多様な参加主体の掘り起こし
- ・環境資産周辺に
多様な主体が期待する空間づくり
鴨川を美しくする会30年の歴史から学んだもの
- ・流域内の多様な主体のネットワーク化
- ・流域内の自然再生事業の事業実施
優先順位検討時の評価軸として
人的資源の分布・連結

**徳島県三好市 落合峠
草地復元にむけて・・・**



2006年3月6日 朝日新聞(徳島県版)

バーチャル
活彩祖谷村 開村

環境資産・多様な参加主体の掘り起こし

旧東祖谷山村・落合峠の研究成果、
草原の価値等、説明して欲しい!!

苦節5年? スタート!!

御静聴ありがとうございました。

